

E-SX90系, E-GX90系, E-JZX90系, E-JZX91系, Y-LX90系

P, A, V店

標 題 トヨタ マークII, チェイサー, クレスタの定期点検についてのお知らせ

トヨタ マークII, チェイサー, クレスタのモデルチェンジに伴い, 定期点検に関する点検項目と整備基準値をお知らせします。

なお, 本整備編に記載されていない項目については下記資料を参照してください。

整備関係資料

資 料 名	品 番	発 行 年 月
トヨタ新車点検作業要領説明書 (乗用車編)	66477	1991年2月
トヨタ定期点検作業要領説明書	68550	1983年7月
技術連絡書修理編 新定期点検整備方式について	総括4032	1984年12月
トヨタ マークII・チェイサー・クレスタ修理書 上巻	62140	1992年10月
トヨタ マークII・チェイサー・クレスタ修理書 下巻	62144	1992年10月

目 次

	ページ
1. 点検整備方式の変更点	2
2. 各部油脂・冷却水と容量	3
3. 定期点検整備基準値	4
4. 定期点検作業要領	7

1. 点検整備方式の変更点

点検整備項目			点検整備時期							点検方法及び判定基準	備考		
			運 行 前	自家用			事業用等					走 毎 の 整 備 キ ロ 千km	交 換 時 期 年 毎
				6 か 月 毎	12 か 月 毎	24 か 月 毎	1 か 月 毎	3 か 月 毎	12 か 月 毎				
制 動 装 置	A B S	作動状態			○			○			点検方法: (アクチュエーターの作動 状態の点検) ABS用チェッカーをアク チュエーターに接続し作動 を確認する。	自家用の第1回目 は36ヵ月に点検	
原 動 機	冷 却 装 置	油圧駆動冷却ファ ンの油漏れ及び油 量		○	○	○	○	○	※1		点検方法: (油漏れの点検) オイルポンプ, 油圧モー ター, ホース, パイプ及び 接続部などから油漏れがな いかを目視などにより点検 する。 (油量の点検) リザーバタンクのレベル ゲージの指示範囲内にある こと。	1JZ-GTE エンジン	

○印はメーカー推奨を示す。

※1 は初期点検のみを示す。(自家用の場合で「1か月または1000km」, 事業用の場合で「1000km」時の点検を示す。)

2. 各部油脂・冷却水と容量

項 目		容 量 (ℓ)			指 定 油 脂
油 脂 名	型 式	オイルのみ 交 換 時	オイルとオ イルフィル ター交換時	全 容 量	
エ ン ジ ン オ イ ル	4S-FE	3.1	2.3	4.0	キヤッスル・クリーンシンサート (SG)
	1G-FE	4.1	4.3	4.5	キヤッスル・クリーンSG (SG)
	1JZ-GE	5.2	5.5	6.5	キヤッスル・クリーンSGフリート (SG)
	1JZ-GTE				キヤッスル・クリーンターボ (SF)
	2JZ-GE				キヤッスル・クリーンエクセレント (SF)
	2L-TE	4.3	5.3	6.0	キヤッスル・クリーンSFフリート (SF)
				キヤッスル・クリーンロイヤルII (SE)	
				キヤッスル・クリーンSEフリート (SE)	
冷 却 水	4S-FE 1G-FE 1JZ-GE	6.8			キヤッスル・ディーゼルオイル ニュースペシャルII (CD)
	1JZ-GTE	8.0			キヤッスル・ディーゼラックスS-3 (CD)
	2JZ-GE	7.0			キヤッスル・CDマルチフリート (CD)
	2L-TE	9.0			
					LLC (キヤッスル・ロングライフクーラント) 凍結保証温度 30% -12°C 50% -35°C
マ ニ ュ ア ル トランスミッション オ イ ル	W55	2.6			キヤッスル・MGギヤオイルスペシャルII (SAE75W-90)
	W57				
	R154	3.0			
オ ー ト マ チ ッ ク トランスミッション オ イ ル	A42D	6.2			キヤッスル・オートフルードD-II
	A43D	6.5			
	A42DE	6.1			
	A340E	6.7			
	A341E	7.2			
デ ィ フ ァ レ ン シ ャ ル オ イ ル	7.5インチ	1.0			キヤッスル・ハイポイドギヤオイルSX
	8.0インチ	1.2			
	7.5インチ (LSD)	1.0			キヤッスル・ハイポイドギヤオイルLSD
	8.0インチ (トルセン LSD)	1.2			キヤッスル・ハイポイドギヤオイルSX
パ ワ ー ス テ ア リ ン グ フ ル ード	0.8		1.2 (1JZ-C,TE)		キヤッスル・パワーステアリングフルード
ク ラ ッ チ フ ル ード	—			トヨタブレーキフルード2500H	
ブ レ ー キ フ ル ード	—				
エ ア コ ン プ レ ッ サ ー オ イ ル	—			ND-OIL 8	

3. 定期点検整備基準値

エンジン関係

エンジン型式		4S-FE	1G-FE	1JZ-GE	1JZ-GTE	2JZ-GE	2L-TE
Vリブドベルト たわみ量 [押力 10kg] (mm) ()内は張力(kg)	オルタネーターベルト	13~17 (13~37)	14~20 (25~40)	インジケーターにて点検 (無調整)			10~15 (20~35)
	A / C ベ ル ト	9~11 (45~55)	9~11 (25~40)				17~21 (20~35)
	P / S ベ ル ト	9~14 (20~35)	7~9 (20~35)				10~15 (20~35)
バッテリー液比重 [液温 20°C]		1.250~1.270	←	←	←	←	1.270~1.290
点火時期 (°BTDC/rpm)	T端子短絡	M / T	10 ± 2 / 650	10 ± 2 / 700	←	←	←
		A / T	10 ± 2 / 700				
	T端子開放	M / T	10~20/650	12以上/700	5以上/700	8以上/700	5以上/700
		A / T	10~20/700				
噴射時期[TDC静止] プランジャーリフト量 (mm)		—	—	—	—	—	刻印合わせ
噴 射 圧 力 (kg/cm ²)		—	—	—	—	—	145~155
アイドル回転数 (rpm)	M / T	650 ± 50	700 ± 50	←	←	←	←
	A / T	700 ± 50					
アイドル C O 濃 度 (%)		1.0 以下	←	←	←	←	—
アイドル H C 濃 度 (ppm)		800 以下	←	←	←	←	—
ディーゼルスモーク濃度 (%)		—	—	—	—	—	50 以下
アイドルキューム (-mm/Hg)		450 以上	430 以上	500 以上	470 以上	500 以上	—
バルブクリアランス [冷間時] (mm)	I N	0.24 ± 0.05	0.20 ± 0.05	←	←	←	0.25 ± 0.05
	E X	0.33 ± 0.05	0.30 ± 0.05	←	←	←	0.45 ± 0.05
シリンダーヘッド締め付けトルク (kg·cm)		※ 1	650	※ 1	←	←	←
マニホールド 締め付けトルク (kg·cm)	I N	195	180	※ 2	←	←	240
	E X	500	260	※ 2	←	←	530
圧 縮 圧 力 [250 rpm 時] (kg/cm ²)	基準値	12.5	13.0	←	12.5	13.0	31.0
	限 度	10.0	←	11.0	9.0	11.0	20.0
	気筒差	1.0 以下	←	←	←	←	5.0 以下
スパークプラグキャップ (mm)	基準値	1.0~1.1	←	※ 3	←	←	—
	限 度	1.3	←				
ラジエーターキャップ開弁圧 (kg/cm ²)	基準値	0.75 ± 1.05	←	←	←	←	←
	限 度	0.60	←	←	←	←	←

※ 1. 塑性域締め付けのため点検不要

※ 2. メタルガスケット使用のため点検不要

※ 3. 白金プラグ使用のため点検、調整不要

シャシー関係(1/2)

項 目		車両型式	SX90 GX90	JZX90	JZX91	LX90
ステアリングホイールの遊び [ステアリングホイール外周にて] (mm) [油圧作動時]			0~30	←	←	←
フロントホイール アライメント	サイドスリップ [1mにつき] (mm)		0~3	←	←	←
	トーイン点検基準値 (mm)		1±2	←	←	←
	キャンバー点検基準値 (度)		0°05'±45'	-0°05'±45' -0°15'±45' (ツアラ- S, ツアラ- V)	-0°05'±45'	0°05'±45'
	キャスター点検基準値 (度)		5°45'±45'	5°45'±45' 6°00'±45' (ツアラ- S, ツアラ- V)	5°45'±45'	←
	キングピンアングル 点検基準値(参考値) (度)		8°45'±45'	9°00'±45' 9°10'±45' (ツアラ- S, ツアラ- V)	9°00'±45'	8°45'±45'
リヤホイール アライメント	トーイン点検基準値 (mm)		2±2	←	←	←
	キャンバー点検基準値 (度)		-0°25'±45'	-0°25'±45' -0°40'±45' (ツアラ- S, ツアラ- V)	-0°25'±45'	←
フロントホイール 左右回転角度	内 側 (度)		40°45' +1° -2°	←	←	←
	外 側 (参考値) (度)		34°25'	34°10' 34°00' (ツアラ- S, ツアラ- V)	34°10'	34°25'
ブレーキペダル (mm)	高 さ [アスファルトシート 上面より]		157	←	←	←
	遊 び [負圧なしの状態]		1~6	←	←	←
	踏み残りしろ [踏力 50 kg] [エンジンONの状態]		85以上	←	←	←
パーキング ブレーキ 【 】はペダル式	レバー引きしろ (ノッチ数) [操作力20kg][操作力30kg]		5~8 【5~7】	←	←	←
	ドラムの内径 (mm)	基準値	176.0	←	←	←
		限 度	177.0	←	←	←
	ライニングの 厚さ (mm)	基準値	2.0	←	←	←
		限 度	1.0	←	←	←
	ブレーキの 効き具合	制動力	検査時車両重量の20%以上			
操作力		50 kg 以下【90 kg 以下】				

シャシー関係(2/2)

項 目		車両型式	SX90 GX90	JZX90	JZX91	LX90
ディスクブレーキ パッドの厚さ (mm)	前 輪	基 準 値	12.0	11.0	←	12.0
		限 度	1.0	←	←	←
	後 輪	基 準 値	12.0	←	←	←
		限 度	1.0	←	←	←
ディスクブレーキ ローターの厚さ (mm)	前 輪	基 準 値	22.0	25.0 32.0 (ツアラ-V)	25.0	22.0
		限 度	20.0	23.0 30.0 (ツアラ-V)	23.0	20.0
	後 輪	基 準 値	10.0	10.0 16.0 (ツアラ-V)	10.0	←
		限 度	9.0	9.0 15.0 (ツアラ-V)	9.0	←
ディスクの振れ限度 [外周より10mm内側] (mm)		前 輪	0.05	←	←	←
		後 輪	0.07	←	←	←
ブレーキの効き具合 (注) 前輪のすべての車輪が ロックし、計測困難な場合 は、その状態で総和に対し て適合するものとみなす。		制 動	後 輪 和	軸重の20%以上		
		動 力	各輪左右差	軸重の8%以下		
		総 和	検査時車両重量の50%以上			
クラッチペダル (mm)	高 さ	[ダッシュロア上面より]	158±5	←	←	←
	遊 び	[ペダル上にて]	5~15	←	←	←
	切れ残りストローク		25以上	←	←	←
プロペラシャフトの振れ (mm)			0.8以下	←	0.8以下 1.8以下 (コンポジット)	0.8以下
ホイールベアリング ハブ軸方向の動き量 (mm)		前 輪	0.05以下	←	←	←
		後 輪	0.05以下	←	←	←
ホイールナットの締め付けトルク (kg·cm)			1050	←	←	←
タイヤ残り溝 (mm)			1.6まで	←	←	←
タイヤ空気圧			次ページ参照			

タイヤ空気圧 [一般と高速とも同じ] (kg/cm²)

タイヤサイズ	前輪	後輪
185 / 70R14 88S	1.9 2.1 (LX90)	1.9 2.1 (LX90)
195 / 70R14 91S	1.7 1.9 (LX90)	1.7 1.9 (LX90)
195 / 65R15 91H	2.0	2.0
205 / 60R15 91H	2.0	2.0
205 / 55R16 89V	2.3	2.3
225 / 50R16 92V	2.5	2.5

4. 定期点検作業要領

1. 減速時排気ガス減少装置の機能

4S-FE, 1JZ-GE

エンジン暖機後、インジェクターに指をあててエンジン回転を 3500 rpm 以上まで上げ、スロットルレバーを戻したとき、インジェクターの作動による振動が一瞬止まることを確認する。

1G-FE, 1JZ-GTE, 2JZ-GE

エンジン暖機後、ダッシュボットを作動させないようにし、インジェクターに指を当ててエンジン回転を 3500 rpm 以上まで上げ、スロットルレバーを戻したとき、インジェクターの作動による振動が一瞬止まることを確認する。

2. 排気ガス再循環装置の機能

2L-TE

- (1) エンジン暖機後、アイドル運転状態で EGR バルブのバキュームホースに負圧がかかっていないことを確認する。
- (2) エンジン回転を約 1500 rpm に上げたとき、EGR バルブのバキュームホースに負圧がかかることを確認する。
- (3) 水温 60°C 以下の状態で (2) のように回転を上げたとき、EGR バルブのバキュームホースに負圧がかからないことを確認する。

なお、バキュームホースにかかる負圧の確認は EGR バルブ側のバキュームホースの部分にバキュームゲージを取り付けて行う。